

創立記念日にあたって

校長室だより No2
令和6年5月1日

置賜農業高校の創立129周年の創立記念日を迎えるにあたり、これまで本校の発展のために長年にわたり様々なご支援を賜りました地域の皆様や同窓生をはじめとする関係者の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

本校は、明治28年、米沢市に南置賜郡立蚕業学校として開校したのが始まりです。明治35年にここ蓬田の地に移転し、地理的にも置賜地域の中央である小松の地で、しっかりとした教育施設を備えて農業を振興し、地域そして国を豊かにしたいという、関係者の思いに支えていただきながら歴史と伝統を刻んでまいりました。

本校の校訓は、「質実剛健」（心身ともにたくましく真面目でしっかりしていること）「誠実明朗」（偽りなく明るいこと）、そして「実践奉仕」（利害を考えず自ら実行すること）、この3つです。本校の校訓には建学の精神が込められており、生徒の皆さんにはこの校訓をしっかりと受け止め、プロジェクト学習をはじめとする様々な学習活動や、生徒会活動、農業クラブ活動、部活動等に主体的に取り組み、充実した学校生活を送って欲しいと思います。

さて、生産年齢人口の減少、グローバル化やAI技術の進展など社会は大きく変化しています。このように予測が困難な時代にあって必要とされるのは未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けることです。そのためには「いのち」を大切にし、豊かな心と健やかな体、そして社会を生き抜く基盤となる学力を身に付けることが必要とされています。本校での3年間の学びを通してこれらの力をしっかりと身に付けて欲しいと思います。

最後になりますが、創立130周年を来年に控え、地域を担う学校としての期待に応えるよう生徒・教職員が一丸となって、これからも教育活動に全力で取り組んでまいります。関係者各位におかれましては、今後益々のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。